

平成30年度 第1回加古川市スポーツ推進審議会 資料

日時 平成30年6月28日(木)16:00～

場所 鹿兒川荘201・202会議室

加古川市スポーツ振興基本計画後期アクションプランの体系とその主な関連事業（平成29年度）

主要な取組・行動目標	具体的な取組	主な関連事業
1. スポーツ振興を担う「組織」の充実		
◆ネットワーク委員会の「見える化」、充実	(1) ネットワーク会議の情報発信	・ ネットワーク委員会の市ホームページへの掲載
	(2) ネットワーク会議によるスポーツ関係団体等との連携・協力体制の強化	・ 加古川市民スポーツカーニバル ・ 加古川市スポーツネットワーク委員会
2. だれもが参加できる「する」スポーツの推進		
◆スポーツ参加機会の拡充やライフステージに応じたスポーツ活動の推進	(1) 日常的・身近・手軽に実施できる「ながら」運動やスポーツ種目、プログラムの展開	・ スポーツライフセミナー 小学校コース・初心者コース ・ 放課後子ども教室 ・ ラジオ体操の推進 ・ 公民館活動 ・ 世代間交流学習会
	(2) 運動・スポーツに対して無関心な人に対する、実施による具体的な効果の啓発	・ 特定保健指導
	(3) 高齢者に対する運動・スポーツ活動の支援	・ 老人クラブ活動 ・ いきいき百歳体操活動支援
	(4) 健康・体力づくり事業の推進	・ いきいき健康サークル ・ ウェルネスプラン運動・身体活動ワーキングチーム ・ 少年団活動 ・ 加古川カップ綱引大会 ・ 加古川市民レガッタ ・ 加古川ソーデーマーチ ・ 加古川マラソン大会 ・ 健康・体力づくり事業 ・ スポーツ施設等による主催講座、教室
	(5) 日常的・身近・手軽に実施できる運動・スポーツ種目、プログラムの展開	
◆幼児期・児童期・子育て世代の運動・スポーツの推進	(1) 子育て世代を対象としたイベント、プログラムの充実	・ なかよし運動会 ・ 選手育成機会の提供 ・ 選手育成コース ・ 小学生ボート体験教室
	(2) 子どもの発達段階に応じた競技レベルの向上	・ バスケットボール教室 ・ バレーボール教室 ・ バンディオンセ加古川サッカー教室 ・ バドミントン教室
◆障がいのある人に対する運動・スポーツ活動の支援	(1) 障がいのある人に対する運動・スポーツ活動の支援	・ 加古川ソーデーマーチ ・ 加古川マラソン大会 ・ 障害者スポーツ教室
◆加古川総合スポーツクラブの認知度向上	(1) 加古川総合スポーツクラブの認知度向上	・ スポーツクラブ活動の推進
	(2) クラブハウスの利用促進	・ クラブハウスの利用促進
3. スポーツを「みる」機会の提供		
◆観戦スポーツの推進	(1) プロ・企業スポーツ観戦の推進	・ Bリーグ加古川大会 ・ Vプレミアリーグ女子バレーボール加古川大会
	(2) 身近なスポーツイベントや大会の魅力づくりの推進	・ 兵庫県郡市区対抗駅伝競走大会 ・ 加古川レガッタ（関西学生秋季選手権） ・ 市スポーツイベント情報 ・ 加古川マラソン大会 ・ 広報かがわ情報 ・ 加古川カップ綱引大会 ・ 日本スポーツマスターズ2017兵庫大会 ・ ホストタウン推進事業
4. スポーツを「ささえる」人々の育成と活用		
◆スポーツ・ボランティアや指導者の発掘と養成、管理体制の強化	(1) スポーツ・ボランティア発掘に向けた広報の充実	・ 指導者研修会の情報提供
	(2) スポーツ指導者の養成・管理体制の強化	・ 中学校部活動支援事業 ・ 加古川マラソン大会 ・ スポーツ推進委員交流研修会 ・ 加古川カップ綱引大会審判講習会 ・ 種目代表者会議
5. 身近に利用できる「場所」の整備		
◆運動・スポーツ機会の創出と場所の確保	(1) 運動・スポーツに触れる機会の創出	・ トレーニング室の利用促進 ・ トレーニングジムの利用促進 ・ プール及びジムの利用促進 ・ 競技場の個人利用促進 ・ プールの利用促進
	(2) 身近な運動・スポーツ環境の充実	・ かがわ・新コンセプトウォーキングコース ・ ウォーキングコースの奨励
6. 豊かなスポーツライフに不可欠な「情報」の発信		
◆スポーツ情報の周知と新たな発信方法の活用	(1) スポーツ情報の周知	・ 広報かがわ情報
	(2) 新たなスポーツ情報発信方法の活用	・ 市スポーツイベント情報 ・ スポーツ推進委員だよりのHP掲載 ・ 播磨圏域連携中枢都市圏連携事業（8市8町）

加古川市スポーツ振興基本計画後期アクションプラン進捗状況

主要な取組み	行動目標	具体的な取組	主な関連事業名	所管課名	平成29年度実施予定	平成29年度の取り組み結果
1.スポーツ振興を担う「組織」の充実	ネットワーク会議の「見える化」、充実	ネットワーク会議の情報発信		社会教育・スポーツ振興課	市HP内で「加古川市スポーツネットワーク委員会」の内容を随時公開する。	市HP内に「加古川市スポーツネットワーク委員会」のページを作成し、設立趣旨及び内容を公開した。
		ネットワーク会議によるスポーツ関係団体等との連携・協力体制の強化	加古川市民スポーツカーニバル	社会教育・スポーツ振興課	29年度は、記念大会として3日間の開催となり、11月2日(木)に総合開会式を加古川市民会館、11月3日(金・祝)に陸上記録大会を加古川運動公園陸上競技場並びにボールゲームフェスタを市立総合体育館、11月4日(土)にスポーツカーニバルを市立日岡山体育館他において実施する予定。 今回は、『『ユニバーサル・スポーツデー』～週1回以上運動・スポーツを楽しもう～(案)』をテーマとし、各日程でアトラクションやスポーツ体験等のイベントを実施する予定。	29年度は、記念大会として3日間の開催となり、11月2日(木)に総合開会式を加古川市民会館、11月3日(金・祝)に陸上記録大会を加古川運動公園陸上競技場並びにボールゲームフェスタを市立総合体育館、11月4日(土)にスポーツカーニバルを市立日岡山体育館他にて開催し、約4,800人の参加があった。 今回は、『『スポーツを文化に』～日々の生活にスポーツを!!そして、健康な生活を!!～』をテーマとし、各日程で講演会やスポーツ体験等のイベントを実施した。 また、前回に引き続き「第39回市小学校陸上記録大会」と同時開催した。
			加古川市スポーツネットワーク委員会	社会教育・スポーツ振興課	平成29年度は、「第5回記念加古川市市民カーニバル」を実施する。日時、内容に関しては11月2日(木)に総合開会式、11月3日(金・祝)に陸上記録大会とボールゲームフェスタ、11月4日(土)にスポーツカーニバルを実施する。	平成29年度は「第5回記念加古川市民スポーツカーニバル」を実施した。 また、「第5回記念加古川市市民スポーツカーニバル」に向けて準備及び実行委員会を4回実施した。
2.だれもが参加できる「する」スポーツの推進	スポーツ参加機会の拡充やライフステージに応じたスポーツ活動の推進	日常的、身近、手軽に実施できる「ながら」運動やスポーツ種目、プログラムの展開	スポーツライフセミナー	社会教育・スポーツ振興課	スポーツライフセミナーは、スポーツ実施率の低い20代～50代の方にスポーツを始めるきっかけ作りを提供することを目的にしており、平成28年度と同様に20代～50代を対象に全6回をひとつのプログラムとする「初心者コース」を実施する予定。 小学校コースについては3つの小学校(氷丘南・加古川・鳩里)で、トランボビスク・おどっこ・フライングディスク・ファミリーバドミントンの4種目を行い、NPO法人加古川総合スポーツクラブとスポーツ推進委員会が指導を行う。	スポーツライフセミナーは、スポーツ実施率の低い20代～50代の方にスポーツを始めるきっかけ作りを提供することを目的にしており、平成28年度と同様に20代～50代を対象に全6回をひとつのプログラムとする「初心者コース」を実施し、延68名の参加があった。 小学校コースについても平成28年度と同様に、3つの小学校(鳩里・氷丘南・加古川)で、トランボビクス・おどっこ・フライングディスク・ファミリーバドミントンの4種目を行い、NPO法人加古川総合スポーツクラブとスポーツ推進委員会が指導を実施し、延119名の参加があった。
			放課後子ども教室	社会教育・スポーツ振興課	子どもたちの放課後や休日を充実したものとなるよう、地域のボランティアの指導のもと、6小学校において新規開設し、市内15小学校(野口南小、陵北小、川西小、尾上小、西神吉小、野口小、氷丘南小、平荘小、若宮小、平岡小、氷丘小、東神吉小、平岡北小、上荘小、野口北小)及び12公民館において実施する。スポーツ種別としては、野口南小で卓球・グラウンドゴルフ、陵北小でソフトボール、川西小で卓球、西神吉小でソフトボール、野口小で卓球、氷丘南小でゲートボール、若宮小でファミリーバドミントン、平岡小でハンドボール、氷丘小でグラウンドゴルフ・キンボール、東神吉小で卓球、上荘小でソフトボール、野口北小でバレーボールを実施する。公民館では、登録団体や高齢者大学の協力のもと、スポーツを含むさまざまなプログラムを実施する。	子どもたちの放課後を充実したものとなるよう地域のボランティアの指導のもと、市内15小学校(野口南小、陵北小、川西小、尾上小、西神吉小、野口小、氷丘南小、平荘小、若宮小、氷丘小、平岡小、上荘小、東神吉小、野口北小、平岡北小)で週1回のクラブ形式で実施した。スポーツ種別として、野口南小では卓球に55名、グラウンドゴルフに22名、陵北小ではソフトボールに8名、川西小では卓球に23名、西神吉小ではソフトボールに45名、野口小では卓球に48名、氷丘南小ではゲートボールに11名、若宮小ではファミリーバドミントンに39名、氷丘小ではグラウンドゴルフに8名、キンボールに21名、平岡小ではハンドボールに26名、上荘小ではソフトボールに14名、東神吉小では卓球に25名、野口北小ではバレーボールに21名が参加した。 また、休日や長期休暇には市内12公民館で実施し、スポーツ関係では東加古川公民館、加古川北公民館、氷丘公民館、平岡公民館、尾上公民館において、登録団体や高齢者大学の協力のもと、さまざまなプログラムを行った。
			ラジオ体操の推進	社会教育・スポーツ振興課	スポーツ推進委員にラジオ体操指導者講習会への参加を呼びかけ、スポーツライフセミナーや高齢者大学、特定保健指導運動教室等の講習会でラジオ体操の指導を行う予定。	スポーツライフセミナーや高齢者大学、特定保健指導運動教室、健康づくり講座への講習会等にスポーツ推進委員を派遣し、ラジオ体操の指導を行った。
			公民館活動	社会教育・スポーツ振興課	昨年に引き続き、市内12の公民館で多くのスポーツグループがスポーツ活動を行う予定。	市内12公民館で、107のスポーツグループがスポーツ活動を行い、地域の参加者を広く募集した。
			世代間交流学習会	社会教育・スポーツ振興課	地域の教育力を高め、絆を深めることを目的とし、共に支えあう地域づくりに貢献するために実施する。	高齢者・壮年・青少年の世代間交流を目的に、20小学校区単位で、ペタンク、グラウンドゴルフ、運動会等を開催し、11,707名が参加した。また、60の町内会単位でも、6,876人が参加し、スポーツ事業を実施した。

主要な取組み	行動目標	具体的な取組	主な関連事業名	所管課名	平成29年度実施予定	平成29年度の取り組み結果
2.だれもが参加できる「する」スポーツの推進	スポーツ参加機会の拡充やライフステージに応じたスポーツ活動の推進	運動・スポーツに対して無関心な人に対する、実施による具体的な効果の啓発	特定保健指導	健康課	平成28年度に引き続き、特定保健指導対象者に対して生活習慣の改善を目的に、各種運動指導を実施する。また、平成29年度は新たにエアロビを実施する予定。 引き続きかがわウォーキング手帳を配布し、ウォーキングの推進と手帳の利用動奨を行い、継続的なウォーキングの実施を勧める。	特定健診の結果、生活習慣の改善が必要な者を対象に、生活習慣を改善し生活習慣病を予防することを目的に、各公民館等でウォーキングやストレッチ（スポンジボール含む）、ラジオ体操、チェアエクササイズ、ヨガ、体幹トレーニング等の運動指導を実施した。さらに、平成29年度はエアロビクスの運動指導を実施した。 かがわウォーキング手帳に加え、歩数、体重等をグラフ管理できるからだカルテを配布し実施状況を確認することで、ウォーキングの推進、実施継続の支援を行った。
		高齢者に対する運動・スポーツ活動の支援	老人クラブ活動	高齢者・地域福祉課	いきいきクラブ体操、ラジオ体操、その他の高齢者の健康づくり・介護予防のために市が適当と認める体操等の実施・普及促進活動を市内の老人クラブ（142クラブ、7,381名）が主体となって引き続き実施する予定である。	いきいきクラブ体操、ラジオ体操、その他の高齢者の健康づくり・介護予防のために市が適当と認める体操等の実施・普及促進活動を市内の老人クラブ（135クラブ、6,913名）が主体となって実施している。
			いきいき百歳体操活動支援	高齢者・地域福祉課	平成28年度に引き続き、住民主体で介護予防活動が実施できるように「いきいき百歳体操」の普及啓発と健康教育を継続する。また、代表者に対する研修会を計画している。 「いきいき百歳体操サポーター育成事業（いきいき百歳体操応援隊講座）」を市内6会場で実施する。	住民主体で介護予防活動が実施できるよう、地域団体等に「いきいき百歳体操」の普及啓発を行い、平成29年度は25団体が立ち上がった。合計で92団体（88会場）が活動中で継続支援を実施している。 また、団体の代表者を対象に研修会・情報交換会を実施した。 「いきいき百歳体操サポーター育成事業（いきいき百歳体操応援隊講座）」を市内6会場で実施し、体操を実施する団体の立ち上げにつながっている。
2.だれもが参加できる「する」スポーツの推進	スポーツ参加機会の拡充やライフステージに応じたスポーツ活動の推進	健康・体力づくり事業の推進	いきいき健康サークル	健康課	加古川市が実施する保健事業や介護予防事業に協力し、市民を対象に、市内の集会所等でストレッチやリズム体操、レクリエーション等心身ともに件粉うを促す運動の普及啓発を実施する。また、「ロコモティブシンドローム」の知識の普及啓発や「効果的なウォーキング」の実践についても引き続き取組む。平成29年度は、生活の中で身体活動量を高める「ながら運動」についての知識を深め、プラス10を普及啓発する予定。	加古川市が実施する保健事業や介護予防事業等に協力し、市民を対象に市内の集会所等でストレッチやリズム体操、レクリエーション等心身ともに健康を促す運度を普及啓発した。また、「ロコモティブシンドローム」やながら運動、プラス10についての知識の啓発を行った。
			ウェルネスプラン運動・身体活動ワーキングチーム	健康課	「ウェルネスプランかがわ」の8項目のうち、運動・身体活動に関する項目は、平成27年度・平成28年度の重点項目であったので、ワーキングチームとしては、終了予定。 運動・身体活動の推進については庁内関係課及び関係施設と連携し、引き続き事業を実施する。また、かがわウォーキング手帳の活用についても継続する。 また、健康づくり支援事業（ウェルネス健康チャレンジ）では、市民自ら健康目標と取り組みを設定し、6ヶ月間取組むことで、主体的な健康づくりを支援しているが、平成29年度は取り組み開始時に、開幕式を開催し、運動実践に向けた支援を行う予定。	庁内8課（国民健康保険課、ウェルネス推進課、育児保健課、幼児保育課、高齢者・地域福祉課、社会教育・スポーツ振興課、学校教育課、健康課）で運動・身体活動に関する現状と課題を共有し、運動・身体活動の推進、取り組み等、について検討した。 第1回：第2次健康増進計画の中間評価・見直し、食育推進計画の最終評価のための「食」と「健康」についてのアンケート調査内容について検討。 第2回：「食」と「健康」についてのアンケート集計結果に基づく第2次健康増進計画の中間評価・課題について検討。 第3回：レシピコンテスト審査会 第4回：第2次健康増進計画の骨子案、行政の取り組み検討。
			少年団活動	青少年育成課	加古川市連合少年団（市内21団）は、地域のさまざまな活動を通して、青少年の健全育成を行うことを目的とし活動している。平成29年度もスポーツ参加機会の拡充を目指して、これまでのスポーツ活動の実施を行う。また連合少年団として、サバイバルキャンプの継続、新規事業として大運動会の実施を予定している。	加古川市連合少年団（市内21団8,990名）は、地域のさまざまな活動を通して、青少年の健全育成を行うことを目的として活動している。スポーツ活動においては、ソフトボール、バレーボールをはじめ、ドッジボールや相撲等に取り組んでいる。また、連合少年団として27年度に引き続き、無人島でのキャンプを開催した。
			加古川カップ綱引大会	社会教育・スポーツ振興課	スポーツを通して気軽に健康・体力づくりや仲間づくりをすることを目的に、体育協会が平成30年2月24、25日に第30回記念加古川カップ綱引大会開催を計画している。「市内小学校対抗戦」を本年度も市内小学生の体力づくりの機会として実施し、部門においては現在検討中である。また、広報手段としては、昨年同様、校長会において参加促進依頼を行い、PRちらしを小学校、中学校に配布する予定であるほか、広報かがわや市ホームページ等に掲載する予定である。なお、30回の記念大会として積極的に参加促進に努めていく。	スポーツを通して気軽に健康・体力づくりや仲間づくりをすることを目的に、体育協会が平成30年2月25日に第30回記念加古川カップ綱引大会を開催した。記念大会として新たに「企業対抗の部」を設け、全7部門で開催し、91チーム、約1,000名が参加した。また、広報手段としては、昨年同様、校長会において参加促進依頼を行い、PRちらしを小学校、中学校に配布し、広報かがわや市ホームページ等に掲載した。
			加古川市民レガッタ	ウェルネス推進課（ウェルネス協会受託）	加古川市レガッタ事業実行委員会が主催し、7月29日（土）・30日（日）の2日間にわたり市民レガッタを実施する。また、小・中学生（小学4年生以上）チームの参加費を無料とし、青少年の健全育成とボート愛好者層の拡大を目指す。	市民の健康づくりと川と親しむ機会として、加古川市レガッタ事業実行委員会が主催し、7月29日（土）・30日（日）の2日間にわたり市民レガッタを実施した。 また、小・中学生（小学4年生以上）チームの参加費を無料とし、青少年の健全育成とボート愛好者層の拡大を目指した。

主要な取組み	行動目標	具体的な取組	主な関連事業名	所管課名	平成29年度実施予定	平成29年度の取り組み結果
2.だれもが参加できる「する」スポーツの推進	スポーツ参加機会の拡充やライフステージに応じたスポーツ活動の推進	健康・体力づくり事業の推進	加古川ツデーマーチ	ウェルネス推進課	心と体の健康を目的に加古川ツデーマーチ実行委員会が主催し、11月11日(土)・12日(日)の2日間にわたって歩くウォーキングイベントとして開催する。両日とも40・20・10・5kmの各コースを設定。 また、ウォーカー向けサービスとして中央会場内で看護協会、柔道整復師会、はり灸マッサージ師会等による無料健康チェックや相談等も行う予定。	心と体の健康を目的に加古川ツデーマーチ実行委員会が主催し、11月11日(土)・12日(日)の2日間にわたって歩くウォーキングイベントとして開催した。両日とも40・20・10・5kmの各コースを設定。
			加古川マラソン大会	ウェルネス推進課	健康づくりを目的に加古川マラソン大会実行委員会が主催し、12月23日(土・祝)に加古川河川敷で開催する。参加コースはフルマラソン・10km・5km・中学生3km・ファミリー2km。	健康づくりを目的に加古川マラソン大会実行委員会が主催し、12月23日(土・祝)に加古川河川敷で開催した。参加コースはフルマラソン・10km・5km・中学生3km・ファミリー2km。
			健康・体力づくり事業	加古川市体育協会	市民の健康・体力づくりを目的に加古川市体育協会が主催して初心者の方が参加できる大会、教室を8月から翌年2月まで(前期:8月～11月と後期:12月～2月)に開催する予定。	市民の健康・体力づくりを目的に加古川市体育協会が主催して初心者の方が参加できる大会、教室を8月から翌年2月まで(前期:8月～11月と後期:12月～2月)に開催し、12大会、7教室の計19事業を実施した。
			スポーツ施設等による主催講座、教室	総合体育館	①28年度定員となった教室はニーズが高いと判断し、教室の増設を検討する。(姿勢ピラティスをA、Bに分けるなど。) ②夜間の教室が少ないので夜間に「ズンバ」教室の開講に向け調整中。 ③昼間の閑散時間に、いつでもだれでもスポーツが出来るような教室開講の検討をしている。	①28年度定員で開催していた姿勢ピラティス教室を1クラス増設した。 また骨盤調整ヨガ教室を午前に1クラス増設した。 ②夜間の教室い向け調整をしているが、実施には至っていない。 ③昼間に高齢者を対象とした脳トレ元気体操教室を開校した。
				運動公園陸上競技場	①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象にしており、陸上の基本練習をしている。基本となる体作りを目的とし、多くの子供が参加している。高跳びや幅跳びにも挑戦するので、陸上に触れる良い機会となっている。選手育成コースは小学5～6年生を対象とし、大会出場を目的とした教室になっている。 ②投てきコース 中学生対象の教室で、県大会などで活躍する選手が多く出ている。 ③リフレッシュウォーキング教室 20歳以上対象で、リフレッシュすることを目的としている。気軽に参加でき、経験とわず誰でも参加できる教室を目指している。	①(1)陸上普及教室 水曜日:1,470名(年間)／土日:1,081名(年間) (2)陸上育成教室 上半期1,049名 下半期959名 ②投てき教室 上半期219名 下半期211名 ③リフレッシュウォーキング教室 第1期114名 第2期86名 第3期102名 第4期93名
				日岡山体育館	①利用者のニーズに合わせた、新たな教室の開校を行っていく。 ②障害者スポーツの体験会を開催する。 ③ノルディックウォークは、活動の場を拡げ日岡山公園のみならず、近隣の公園での実施を計画していく。	①6月から、新規教室として、「ハワイ笑顔ヨガ」教室を開校し、年間240名の方が受講された。 ②実施できなかった ③ノルディックウォークは、体験会として毎月実施した。 ④3月に卓球のミズノビクトリークリニックを実施した。
				武道館	①会議室を有効活用した新規教室を、新たに開講する。	①9月から、「ヨガで元気に」教室を開校し、年間で84名の方が受講された。 ②夏休みの子供向け教室として「親子竹細工教室」、春休みの子供向け教室として「短期こども運動教室」を開催した。
				日岡山公園グラウンド	①ジュニアサッカースクール(幼児、小学生) 体験会を定期的に開催し、在籍の拡大に繋げる。 ②「かけっこ教室」は、毎回好評なので、運動会シーズン前に実施していく。	①ジュニアサッカースクール(幼児、小学生)には、年間2,104名のお子様を受講された。 ②5月と3月に「かけっこ教室」を開催し、38名が参加された。 ③10月と3月に「グランドゴルフ大会」を開催し、合計387名が参加された。

主要な取組み	行動目標	具体的な取組	主な関連事業名	所管課名	平成29年度実施予定	平成29年度の取り組み結果
2.だれもが参加できる「する」スポーツの推進	スポーツ参加機会の拡充やライフステージに応じたスポーツ活動の推進	健康・体力づくり事業の推進	スポーツ施設等による主催講座、教室	日岡山公園第1テニスコート	テニス大会（スクール生対象） スクール生からも好評の大会となっているので、可能な限り開催日程を増やしていく。	テニススクールの講師退職により、大会実施が出来なかった。
				日岡山公園第2テニスコート	ミズノテニススクール（硬式・ソフトテニス） 冬場の凍結対策として、にがりを撒く最適な時期を検証し、少しでも良いコートコンディションが提供できるようにする。	ミズノテニススクール（硬式・ソフトテニス） 冬場の凍結対策として、12月～翌年2月までを第一テニスコートで実施することを定例化することで、スクール生の利便性を向上することができた。また、9月には、第二テニス5番コートのライン整備およびコート土入れ整備を行い、コートコンディションの向上に努めた。同様に、3月には、アンツーカーコートの土補充整備を行い、コートコンディションの維持に努めた。
				漕艇センター	①昨年に引き続きオフシーズンの利用者数増加を目的として「コーチングセミナー」を開催する。今年度は、数回に分けて、年間を通して開催する予定。 ②各種大会については河川工事の影響により件数が減少するが、開催予定の大会においては、ボート大会参加者以外の利用者も取り込めるようなPRを検討する。	①コーチングセミナーにおいては、シリーズ化した内容で複数回行った。多くの方に参加いただくことはできなかったが、初回参加いただいた方は最後まで参加いただくことができた。内容やPR方法を再考し、次年度につなげたい。 ②ボート大会については、河川工事の影響により開催件数減となった。PRについては、ウェルネス推進課や政策企画課との協働による出張エルゴマシ体験イベントで行ったが、思ったような結果は得られなかった。これらPR活動はこれからも継続して行って行きたい。
				ウェルネスパーク	①引き続き、初回講習受講後の2回目以降の来館を促進 新規受け入れ枠をある程度絞り込むことで新規のフォローを手厚くしていく。 また、ジムのスタッフを増員することで利用者との接点を取り利用促進や継続に結びつける。 ②高齢者、運動初心者向けの教室の拡充 高齢者向け運動教室、認知症予防プログラム等、受講してもらいやすいプログラムを提供していく。 ③スタジオプログラムの参加者数増加 新たにバランスボールレッスンや等、運動初心者向けのプログラムを充実することで参加・継続しやすい環境を整えていく。	①初回講習受講後の2回目以降の来館を促進 来場者が多い時間帯にジムのスタッフを増員することで個の手当を手厚くすることができ、接点を取る機会を増やすことができた。 ②高齢者、運動初心者向けの教室の拡充 高齢者向けウォーキング（年10回）、認知機能予防低下プログラム（週2回）を設定し、利用を促進することができた。 ③スタジオプログラムの参加者数増加 15分～20分の短い時間のプログラムを週7本増設。 参加者数を年間で延べ14,000名増やすことができた。
				スポーツ交流館	①引き続き、初回講習受講後の2回目以降の来館を促進 動機付けや目標設定、スタジオプログラムの誘導を行うことで運動習慣を身に着けていただく。 ②フリースペースの拡張 講習室で実施している教室事業の時間変更や、スタジオの空き時間活用により、ストレッチなどフリー利用できるスペースを案内していく。 ③海洋文化センターとの連携強化 小スペースを補うため、近接する海洋文化センターと連携し、各イベントや教室を開催していく。	①プールおよびスタジオプログラム 年2回のスケジュール改正や初回講習時の新規登録者の誘導により、前年度比117%増となった。 ②子供向け教室の拡大 水泳教室の定員拡大や、ダンスや空手など新規開講により、子育て世代に参加しやすい施設づくりが出来た（子供教室参加者合計で前年比126%）。 ③体力測定会など外部イベントの充実 前年に続き、体力測定会や高齢者向け運動教室の定期実施により、運動初心者の方にも運動施設を認知・活用頂ける環境づくりが出来た。

主要な取組み	行動目標	具体的な取組	主な関連事業名	所管課名	平成29年度実施予定	平成29年度の取り組み結果
2.だれもが参加できる「する」スポーツの推進	スポーツ参加機会の拡充やライフステージに応じたスポーツ活動の推進	健康・体力づくり事業の推進	スポーツ施設等による主催講座、教室	アクア交流館	①マスターズ練習会を拡大 引き続き、公認プールを活かした競技力向上や練習環境の整備を行う。 公認大会であるKAKOGAWAマスターズ大会を開催し、さらに広く認知度を広めていく。 ②水泳教室参加枠を拡大 加古川市水泳協会とも連携し、水泳教室の体験機会を拡大。 既存の子供水泳教室の充足が高いため、成人クラスや障がい児クラスでの参加促進を行う。 ③人気の文化教室の新設 和室やホールを使用して人気のヨガ・マッサージ教室を増設。 新しい利用者を開拓し、さらに認知度向上を図る。	①マスターズ練習会を拡大 公認プールを活かした競技力向上や競技者育成に力を入れた運営を行い、外部特別講師を招聘してのレッスンや飛び込みスタートの練習会(年1回)、少人数グループでの泳法レッスンを展開(週1回)を実施。12月には例年のKAKOGAWAマスターズ大会を開催し、日本記録も出るなど確実に競技レベル、認知度も上がってきている。 ②水泳教室参加枠を拡大 子供の水泳教室参加希望に応じて土曜日に参加枠を拡大。約1,000名超の参加者となった。 ③体調改善の新規実施 トレーニング器具を使用して体調を整えるレッスンを新たにイベントで実施。 今まで館に足を運んだことのない方も来館いただけました。
				志方体育館	シェイプアップ教室 10回コースを年4回実施予定。	シェイプアップ教室 10回コースを年4回実施した。
				日岡市民プール	実施時期と配布曜日を検証のうえ、今期も行っていく。	8月後半の平日(3日間)に、子供向けの優待券を配布し、子供利用の活性化を図った。
				志方東公園テニス	テニス教室 週3日実施している。 教室生対象に年3回のテニス大会を計画している。	テニス教室 年110日実施した。 教室生対象に年4回のテニス大会を実施した。
		日常的、身近、手軽に実施できる運動・スポーツ種目、プログラムの展開				
	幼児・児童期、子育て世代の運動・スポーツの推進	子育て世代を対象としたイベント、プログラムの充実	なかよし運動会	こども政策課	親子で触れ合いながら運動を楽しむことを目的として、小学生未満の子どもと保護者を対象に秋ごろ実施予定。	参加者数：大人115人 子ども119人 玉いれやかけっこ、綱引きなど、親子で一緒に参加できる運動会のプログラムを展開し、たくさんの子育て世代が、親子で触れ合いながら運動を行った。
			選手育成機会の提供	社会教育・スポーツ振興課	県体育協会が小学生を対象としたスポーツ体験教室等を実施し、優れた素質を有するジュニア選手を発掘するとともに、ジュニアスポーツ教室や関連スポーツ団体と連携し、継続的に選手を育成するゴールデンエイジプロジェクトについて、市に情報提供があれば、体育協会やスポーツクラブへ周知を行う。	県体育協会が小学生を対象としたスポーツ体験教室等を実施し、優れた素質を有するジュニア選手を発掘するとともに、ジュニアスポーツ教室や関連スポーツ団体と連携し、継続的に選手を育成するゴールデンエイジプロジェクトについて、市に情報提供があれば、体育協会やスポーツクラブへ周知を行った。
			選手育成コース	運動公園陸上競技場	①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象にしており、陸上の基本練習をしている。基本となる体作りを目的とし、多くの子供が参加している。 高跳びや幅跳びにも挑戦するので、陸上に触れる良い機会となっている。選手育成コースは小学5～6年生を対象とし、大会出場を目的とした教室になっている。 ②投てきコース 中学生対象の教室で、県大会などで活躍する選手が多く出ている。	①(1)陸上普及教室 水曜日：1,470名(年間)／土日：1,081名(年間) (2)陸上育成教室 上半期1,049名 下半期959名 ②投てき教室 上半期219名 下半期211名 ③リフレッシュウォーキング教室 第1期114名 第2期86名 第3期102名 第4期93名
			小学生ボート体験教室	ウェルネス推進課 (ウェルネス協会受託)	小学生4～6年生を対象に、水に親しみながらボート競技を通じての体力づくりを目指し、2日間コースで実施する。	小学生4～6年生を対象に、水に親しみながらボート競技を通じての体力づくりを目指し、2日間コースで実施した。 平成29年度は午前の部17名、午後の部8名 計25名が参加した。

主要な取組み	行動目標	具体的な取組	主な関連事業名	所管課名	平成29年度実施予定	平成29年度の取り組み結果
2.だれもが参加できる「する」スポーツの推進	幼児・児童期、子育て世代の運動・スポーツの推進	子どもの発達段階に応じた競技レベルの向上	バスケットボール教室	ウェルネス推進課	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バスケットボール部に所属する中学生および指導者を対象に、Bリーグ選手の直接指導による教室を実施する。 日時：平成29年8月12日(土)13:00～ 場所：日岡山体育館	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バスケットボール部に所属する中学生および指導者を対象に、Bリーグ選手の直接指導による教室を実施した。 日時：平成29年8月12日(土) 場所：日岡山体育館 参加者数：5中学校71名
			バレーボール教室	ウェルネス推進課	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バレーボール部に所属する女子中学生および指導者を対象に、Vリーグ選手・スタッフの直接指導による教室を実施した。 日時：平成29年6月10日(土)13:00～ 場所：総合体育館	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バレーボール部に所属する女子中学生および指導者を対象に、Vリーグ選手・スタッフの直接指導による教室を実施した。 日時：平成29年6月10日(土) 場所：総合体育館 参加者数：6中学校121名
			バンディオンセ加古川サッカー教室	ウェルネス協会	開催なし	事業廃止
			バドミントン教室	ウェルネス推進課	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バドミントン部に所属する中学生および指導者を対象に、日本リーグや兵庫県No.1のチームで活躍する選手の直接指導による教室を実施する。 日時：平成30年1月28日(土)13:00～ 場所：日岡山体育館	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バドミントン部に所属する中学生および指導者を対象に、日本リーグや兵庫県No.1のチームで活躍する選手の直接指導による教室を実施した。 日時：平成30年1月27日(土) 場所：日岡山体育館 参加者数：8中学校72名
	障がいのある人に対する運動・スポーツ活動の支援	障がいのある人に対する運動・スポーツ活動の支援	加古川ツーデーマーチ	障がい者支援課	同様に実施予定。	障がい者(児)の社会参加を支援し、障がいのある人となない人との交流の輪を広げ、相互理解の促進を図ることを目的に、障がい者(児)・介助者を対象としたツーデーマーチ参加費助成事業を実施した。 平成29年度合計参加者数は121名となった。
			加古川マラソン大会	ウェルネス推進課	市民に開かれたバリアフリーな大会をめざし、聴覚障害者(児)ランナーには手話通訳者を配置する。 視覚障がい者の参加者にも配慮していく。	市民に開かれたバリアフリーな大会をめざし、聴覚障害者(児)ランナーには手話通訳者を配置した。
			障害者スポーツ教室	障がい者支援課	同様に実施予定。	9月～1月の間に毎月1回、計5回実施し、それぞれグラウンドゴルフ、フライングディスク、サウンドテーブルテニス、室内ペタンク、ボウリングを行った。フライングディスク、室内ペタンクに関してはスポーツ推進委員の主導で実施した。フライングディスク、室内ペタンク、ボウリングはボランティアの方に参加していただいた。 平成29年度合計参加者数は134名となった。
	加古川総合スポーツクラブの認知度向上	加古川総合スポーツクラブの認知度向上	スポーツクラブ活動の推進	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	ヴィジョン・ミッションを行動指針として、12エリアクラブ、31活動クラブにおいて活動している40種目をホームページや募集チラシで広報する。また、エリアクラブ主催の交流活動・種目部会主催の交流大会及びオープン大会等の開催を通して市民への認知度の向上に努める。また、加古川総合スポーツクラブ設立20周年を次年度に控え、会員の共通理解を図りながら記念事業の準備を推進する。	ヴィジョン策定委員会で策定したヴィジョン・ミッションを行動指針として、12エリアクラブ、31活動クラブにおいて活動している40種目をホームページや募集チラシで広報するとともに、エリアクラブ主催の交流活動・種目代表者会主催の交流大会等の開催を通して認知度の向上に努めた。また、NPO法人加古川総合スポーツクラブ設立20周年記念事業準備委員会を設置し、記念誌部会・イベント部会・式典部会の3部会で検討を重ね、記念事業のアウトラインを作成した。
		クラブハウスの利用促進		NPO法人加古川総合スポーツクラブ	スポーツクラブの会議及び活動場所(将棋・ギター)として利用するとともに、学校(チャレンジクラブ)や地域の団体も利用する予定。	スポーツクラブの会議及び活動場所(ボードダーディング・将棋)として利用するとともに、学校や地域の団体も利用した。

主要な取組み	行動目標	具体的な取組	主な関連事業名	所管課名	平成29年度実施予定	平成29年度の取り組み結果
3. スポーツを「みる」機会の提供	観戦スポーツの推進	プロ・企業スポーツ観戦の推進	Bリーグ加古川大会	ウェルネス推進課	関係機関と調整中	ウェルネススポーツ推進事業の一環としてBリーグ加古川大会を開催し、市内及び市外から多くの観戦者にトップレベルの選手によるすばらしいプレーを観戦する機会を提供した。 日時：平成30年3月17日（土）・18日（日） 場所：総合体育館
			V・プレミアリーグ女子バレーボール加古川大会	ウェルネス推進課	関係機関と調整中	ウェルネススポーツ推進事業の一環としてV・プレミアリーグ女子バレーボール加古川大会を開催し、市内及び市外から多くの観戦者にトップレベルの選手によるすばらしいプレーを観戦する機会を提供した。 日時：平成29年12月2日（土） 場所：総合体育館
		身近なスポーツイベントや大会の魅力づくりの推進	兵庫県都市区対抗駅伝競走大会	ウェルネス推進課	男子第72回・女子第33回兵庫県都市区対抗駅伝競走大会を、防災センター前を発着・中継点とする加古川河川敷マラソンコースにおいて開催する。男女各45チームが出場予定。 日時：平成30年2月4日（日）10：30～	男子第72回・女子第33回兵庫県都市区対抗駅伝競走大会を、防災センター前を発着・中継点とする加古川河川敷マラソンコースにおいて開催した。男子45チーム、女子44チームが出場した。 日時：平成30年2月4日（日）
			加古川レガッタ（関西学生秋季選手権）	ウェルネス推進課（ウェルネス協会受託）	ボート競技を通じて青少年の育成と加古川流域のまちの活性化を図る目的で、加古川市立漕艇センター前コース（2,000m）で競技する。今や関西だけではなく、西日本の大学が参加する大会となっている。今年度は、11/4～6の3日間で開催予定。	ボート競技を通じて青少年の育成と加古川流域のまちの活性化を図る目的で、加古川市立漕艇センター前コース（2,000m）で競技する。今や関西だけではなく、西日本の大学が参加する大会となっている。26大学が参加し、11/3～5の3日間で開催した。
			市スポーツイベント情報	ウェルネス推進課	加古川市ホームページの「子育て・教育・文化・スポーツ」のページに最新の市スポーツイベントの状況を掲載する。また、「加古川市の施設」のページから、スポーツ施設のホームページが閲覧でき、それぞれの施設の大会スケジュールや教室等がチェックできる。	加古川市ホームページの「子育て・教育・文化・スポーツ」のページに最新の市スポーツイベントの状況を掲載した。また、「加古川市の施設」のページから、スポーツ施設のホームページが閲覧でき、それぞれの施設の大会スケジュールや教室等がチェックできる。
			加古川マラソン大会	ウェルネス推進課	加古川マラソンを支えるボランティアの育成を目的として、給水所・走路の監察にかかるボランティアの方々に、AEDを用いた心配蘇生法講習を実施する。	加古川マラソンを支えるボランティアの育成を目的として、給水所・走路の監察にかかるボランティアの方々に、AEDを用いた心配蘇生法講習を実施した。
			広報かがわ情報	秘書広報課	広報かがわで月ごとに開催されるスポーツイベントや大会に関する詳細情報を発信する。また、スポーツイベントを取材し、写真とともに紙面で紹介する。市公式のツイッターやフェイスブックにおいて、市内のスポーツに関する情報を発信し、スポーツに親しみを持ってもらえるよう努める。	広報かがわで月ごとに開催されるスポーツイベントや大会に関する詳細情報を掲載した。また、市の公式ツイッターにおいて、スポーツイベントの情報発信や市の公式フェイスブックでスポーツで活躍する市民の紹介などを行い、スポーツに親しみを持ってもらえるよう努めた。
			加古川カップ綱引大会	社会教育・スポーツ振興課	加古川カップ綱引大会では、昨年同様、観客の方に、ルールやトーナメント表、会場図を配布し、大会を盛り上げる計画をし、2階観客席付近に決勝トーナメント表を設置し、試合結果等を随時更新して、観客がより試合を把握できるように努めた。 また、より多くの市民に観戦してもらうため、民放やケーブルテレビ等マスメディアにPRを行う。	加古川カップ綱引大会では、第30回記念大会として「企業対抗の部」を設置。参加者も平成28年度約650名だったが29年度は約1,000人となり、全国的にも大きな大会となった。また、準備段階においてもマニュアル等を作成するとともに、対戦方法や時間配分を検討するなどスムーズな運営に努めた。
			日本スポーツマスターズ2017兵庫大会	社会教育・スポーツ振興課	平成29年9月15日から平成29年9月19日の間で開催され、本市においては、バレーボール（女子）と軟式野球の大会が行われるため、開催に向けて関係機関と連携をとり準備を行う。また、市民へ大会実施のPRに努める。	平成29年9月15日から19日の間で開催され、本市においては、9月16日、17日の2日間総合体育館ではバレーボール（男子・女子）、日岡山公園野球場では軟式野球を実施した。大会当日には、参加者や観客者へ向けておもてなしブースを設け、清涼飲料水を配付した。
			ホストタウン推進事業	社会教育・スポーツ振興課		平成29年5月にブラジル連邦共和国パラリンピック委員会と同パラバレーボール協会と加古川市の3者において、パートナーシップ協定書を締結し、7月にホストタウンとしての登録が決定した。 ・平成29年7月1日 ブラジルパラリンピック委員会視察受け入れ ・平成29年7月25日 三都主アレサンドロ氏による市内中学校サッカー部訪問（場所：市立平岡中学校）

主要な取組み	行動目標	具体的な取組	主な関連事業名	所管課名	平成29年度実施予定	平成29年度の取り組み結果
4. スポーツを「ささえる」人々の育成と活用	スポーツ・ボランティアや指導者の発掘と養成、管理体制の強化	スポーツ・ボランティア発掘に向けた広報の充実	指導者研修会の情報提供	社会教育・スポーツ振興課	県体育協会が主催するスポーツ指導者研修会やスポーツ指導者養成講座について、体育協会、スポーツ推進委員、スポーツクラブ等へ参加の呼びかけを行う。	県体育協会が主催するスポーツ指導者研修会やスポーツ指導者養成講座について、体育協会、スポーツ推進委員、スポーツクラブ等へ参加の呼びかけを行った。
		スポーツ指導者の養成・管理体制の強化	中学校部活動支援事業	学校教育課	加古川市中学校部活動外部技術指導者数ー25名 外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。 平成29年度配置予定 配置校ー10校(加古川、中部、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南) 配置数ー12種目、25名(野球3名、バレーボール4名、陸上競技2名、バスケットボール3名、卓球2名、国際交流2名、バドミントン2名、ソフトボール1名、柔道2名、生活1名、音楽2名、家庭1名)	加古川市中学校部活動外部技術指導者数ー20名 平成29年度配置状況 配置校ー9校(浜の宮、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南) 配置数ー12種目、20名(野球3名、バレーボール4名、陸上競技2名、バスケットボール1名、卓球2名、国際交流1名、ソフトボール1名、ソフトテニス2名、柔道1名、生活1名、音楽1名、演劇1名)
			加古川マラソン大会	ウェルネス推進課	加古川マラソンを支えるボランティアの育成を目的として、給水所・走路の監察にかかるボランティアの方々に、AEDを用いた心配蘇生法講習を実施する。	加古川マラソンを支えるボランティアの育成を目的として、給水所・走路の監察にかかるボランティアの方々に、AEDを用いた心配蘇生法講習を実施した。
			スポーツ推進委員交流研修会	社会教育・スポーツ振興課	多可町との交流会実施を予定。	平成29年8月19日に多可町スポーツ推進委員会と交流事業を実施し、シッティングバレーボールやインディアカ等のニュースポーツを行った。
			加古川カップ綱引大会審判講習会	社会教育・スポーツ振興課	体育協会主催の「加古川カップ綱引大会」に従事する審判員については、有資格者の公認審判員のほか、正式な資格を持たない者がいる。(体育協会各種目協会から選出された者、スポーツ推進委員、ボランティア等)その者たちに対し、公認審判員(スポーツ推進委員)が審判の講習を実施する予定である。(2回) また、広報で、審判員のボランティアを募集する。	体育協会主催の「加古川カップ綱引大会」に従事する審判員については、有資格者の公認審判員のほか、正式な資格を持たない者がいる。(体育協会各種目協会から選出された者、スポーツ推進委員、ボランティア等)その者たちに対し、公認審判員(スポーツ推進委員)が審判の講習を実施した。(2回) また、広報で、審判員のボランティアを募集した。
			種目代表者会議	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	・運営委員会(毎月開催)→エリアマネジャーが出席し、行事関係の連絡調整及びクラブ運営諸問題について意見交換を行う。・エリアクラブ別懇談会の開催(10月～11月)、・種目代表者会の開催(7月)、マネジャー研修会の開催(2月)	・運営委員会(毎月開催)→エリアマネジャーが出席して、行事関係の連絡調整及びクラブ運営諸問題について意見交換を行った。・種目代表者会議の開催(7月)
5. 身近に利用できる「場所」の整備	運動・スポーツ機会の創出と場所の確保	運動・スポーツに触れる機会の創出	トレーニング室の利用促進	日岡山体育館	中学生の利用者が増えてきていることもあり、利用マナーを遵守していただくように声かけをしていく。お客様が、気持ちよく利用できるような快適な環境を整えていく。	マシンの保守メンテナンスおよびシートの張替えを積極的に実施した。また、マシンの故障が発生した場合には、速やかに修理手配を行い、迅速に対応し、利用者に快適に利用いただける環境を提供できるように努めた。
			トレーニングジムの利用促進	総合体育館	初回講習を受講後の利用のサポートやスタジオプログラムを見直し、幅広いトレーニングのニーズにこたえる。	29年度トレーニングジム利用人数は述べ30,343名(昨年比-628名)であった。近隣(東加古川や姫路)に新規のトレーニング施設が出来たことで若干利用者が減少した。
			プール及びジムの利用促進	ウェルネスパーク	低体力、初心者向けのスタジオプログラムを充実し、2回目の来館を促進していく。	15分～20分の短いプログラムを設定・増設したことにより、低体力、初心者を受け入れることができた。
				スポーツ交流館	講習室を活用し、目的別(ランニング・体幹強化など)プログラムを定期的に行い、継続意識向上を図っていく。	講習室を活用し、目的別(ランニング・体幹強化など)プログラムを定期的に行い、継続意識向上を図った結果、初心者も参加・継続しやすい環境づくりが出来たことで、当日券利用を中心に、前年より4,395名の利用増(103.1%)に繋がった。
			競技場の個人利用促進	運動公園陸上競技場	施設の老朽化が目立ってきているので、コマメな備品チェック、修理を行い、利用者の方に迷惑が掛からない様、努めます。	29年度主競技場個人利用人数は述べ11,286名(昨年比-6,278名)であった。29年度補助競技場個人利用人数は述べ7,900名(昨年比+3,626名)であった。第1種認定工事の為、主競技場が利用できない期間があった。
			プールの利用促進	アクア交流館	水中ウォーキングやワンポイントレッスンなどの参加無料プログラムを強化し、これらの参加をきっかけとした継続・トレーニング意欲の向上に繋げていく。	お子様や成人の水泳教室体験会を開催、広報等を通じ広く案内することで新たな利用者を募ることができました。
		身近な運動・スポーツ環境の充実	かこがわ・新コンセプトウォーキングコース	ウェルネス推進課	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とする、目的別に巡る新しいコンセプトのウォーキングコースを設定しており、各公民館にてガイドブック及びマップを配布するほか、観光協会と連携しHPでPR等を実施する。。	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とする、目的別に巡る新しいコンセプトのウォーキングコースを設定しており、各公民館にてガイドブック及びマップを配布するほか、観光振興課と連携しHPでPR等を実施した。
			ウォーキングコースの奨励	観光振興課	ホームページ及び観光パンフレットにウォーキングコースを掲載し、ウォーキングを奨励する。	ホームページ及び観光パンフレットにウォーキングコースを掲載し、ウォーキングを奨励した。

主要な取組み	行動目標	具体的な取組	主な関連事業名	所管課名	平成29年度実施予定	平成29年度の取り組み結果
6. 豊かなスポーツライフに不可欠な「情報」の発信	スポーツ情報の周知と新たな発信方法の活用	スポーツ情報の周知	広報かがわ情報	秘書広報課	広報かがわで月ごとに開催されるスポーツイベントや大会に関する詳細情報を掲載する。また、スポーツイベントを取材し、写真とともに紙面で紹介する。市公式のツイッターやフェイスブックにおいて、市内のスポーツに関する情報を発信し、スポーツに親しみを持ってもらえるよう努める。	広報かがわで月ごとに開催されるスポーツイベントや大会に関する詳細情報を掲載した。また、スポーツイベントを取材し、写真とともに紙面で紹介を行った。市公式のツイッターやフェイスブックにおいて、市内のスポーツに関する情報を発信し、スポーツに親しみを持ってもらえるよう努めた。
		新たなスポーツ情報発信方法の活用	市スポーツイベント情報	ウェルネス推進課	加古川市ホームページの「子育て・教育・文化・スポーツ」のページに最新の市スポーツイベントの状況を掲載した。また、「加古川市の施設」のページから、スポーツ施設のホームページが閲覧でき、それぞれの施設の大会スケジュールや教室等がチェックできる。	加古川市ホームページの「子育て・教育・文化・スポーツ」のページに最新の市スポーツイベントの状況を掲載した。また、「加古川市の施設」のページから、スポーツ施設のホームページが閲覧でき、それぞれの施設の大会スケジュールや教室等がチェックできるようにした。
			スポーツ推進委員だよりのHP掲載	社会教育・スポーツ振興課	スポーツ推進委員だより「HAPPYスポーツ」は、年2回発行予定。(1回目、第51号はH29.6に発行し、関係者及び一部の公共施設に対する配付だけでなく、市HPに掲載を行い、身近な体力づくりやスポーツ情報を提供。また、綱引大会やスポーツカーニバル、スポーツライフセミナー等イベントにおいても参加市民に配布して情報提供に努める。	スポーツ推進委員だより「HAPPYスポーツ」は、年2回発行しているが、関係者及び一部の公共施設に対する配付だけでなく、市HPに掲載を行い、身近な体力づくりやスポーツ情報を提供している。また、綱引大会やスポーツカーニバル、スポーツライフセミナー等イベントにおいても参加市民に配布して情報提供に努めている。
			播磨圏域連携中枢都市圏連携事業(8市8町)	社会教育・スポーツ振興課		播磨圏域8市8町のスポーツイベント等の情報を、姫路市が管理している「ひめじスポーツコミッションHP」にて作成する。

加古川市スポーツ推進計画の体系とその主な関連事業（平成30年度）

施策・目標	具体的施策	主な関連事業
1. スポーツ参画人口の拡大		
(1) 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進	①幼児を対象とした運動遊びの充実	・なかよし運動会
	②学校におけるスポーツ活動の充実	・放課後子ども教室 ・中学校部活動支援事業
(2) ライフステージに応じたスポーツの推進	①ビジネスパーソンのスポーツ習慣づくり	・スポーツライフセミナー
	②女性がスポーツに参画しやすい環境整備	
	③高齢者スポーツの推進	・老人クラブ活動
(3) スポーツに関心のない人へのはたらきかけ	①スポーツの多様な関わり方の提案	
	②ライフスタイルに合わせたスポーツ情報の提供	・かがわ・新コンセプトウォーキングコース ・ウォーキングコースの奨励
(4) 競技スポーツの推進	①競技スポーツ選手のスポーツ環境整備	・選手育成機会の提供 ・選手育成コース ・バスケットボール教室 ・バレーボール教室 ・バンディオンセ加古川サッカー教室 ・バドミントン教室 ・小学生ボート体験教室 ・加古川市民さわやか賞【新規追加】
	②競技スポーツ指導者の育成・確保	
2. スポーツを通じた共生社会の実現		
(1) 障がい者スポーツの振興	①障がい者スポーツの組織基盤の整備	
	②スポーツ施設における障がい者等の利用促進	
	③障がい者スポーツの実施機会の増加	・ふれあいスポーツ教室
	④ノーマライゼーションの推進	・加古川ツデーマーチ ・加古川マラソン大会
(2) 健康・体力づくり事業の推進	①健康・スポーツに関する情報発信	・ウェルネスプラン運動・身体活動ワーキングチーム ・特定保健指導 ・いきいき健康サークル
	②散歩・ウォーキング・健康体操の推進	・かがわ・新コンセプトウォーキングコース【再掲】 ・ウォーキングコースの奨励【再掲】 ・ラジオ体操の推進 ・いきいき百歳体操活動支援
	③スポーツ推進委員会の活用	・スポーツ推進委員派遣事業 ・スポーツ推進委員研修会
(3) スポーツを通じた地域活性化	①地域におけるスポーツ環境・スポーツ情報の充実	・公民館活動 ・少年団活動
	②スポーツイベントの開催	・加古川市民スポーツカーニバル ・加古川カップ綱引大会 ・健康・体力づくり事業 ・加古川市民レガッタ ・加古川市民レガッタ（関西学生秋季選手権） ・加古川ツデーマーチ ・加古川マラソン大会 ・兵庫県都市区対抗駅伝競走大会
	③地域でのスポーツイベントの開催	・世代間交流学習会
	④ホストタウンを契機としたスポーツ交流の促進	・ホストタウン交流事業 ・加古川市スポーツサポーター養成講座【新規追加】
3. スポーツ環境の充実		
(1) 身近に利用できる「場所」の確保	①スポーツ施設の充実	・スポーツ施設等による主催講座、教室 ・トレーニング室の利用促進 ・トレーニングジムの利用促進 ・プール及びジムの利用促進 ・競技場の個人利用促進 ・プールの利用促進
	②学校体育施設等の開放	・学校体育施設等の開放【新規追加】
	③スポーツ施設に関する情報提供・利用手続きの簡素化	
(2) 観戦スポーツの推進	①スポーツ大会の情報提供	・Bリーグ加古川大会 ・Vプレミアリーグ女子バレーボール加古川大会
	②大規模競技大会の誘致	
	③身近な観戦スポーツの推進	
(3) スポーツボランティアや指導者の発掘と養成	①スポーツボランティアの養成・確保	・指導者研修会の情報提供 ・加古川マラソン大会 ・加古川カップ綱引大会審判講習会
	②スポーツ指導者の養成・確保	・加古川市スポーツサポーター養成講座【再掲】
(4) スポーツについての情報発信	①多角的なスポーツ情報の提供	・広報かがわ情報
	②スポーツの情報発信方法の工夫	・市スポーツイベント情報 ・スポーツ推進委員だよりのHP掲載 ・播磨圏域連携中枢都市圏連携事業（8市8町）
(5) 総合型地域スポーツクラブの充実	①NPO法人加古川総合スポーツクラブの質的な充実	・スポーツクラブ活動の推進 ・スポーツクラブマネージャー研修会
	②地域の課題解決に向けた取組の推進	・クラブハウスの利用促進
	③運動部活動への協力体制の拡充	

加古川市スポーツ推進計画関連事業一覧

1 スポーツ参画人口の拡大

No.	具体的施策	主な関連事業	所管課名	平成30年度実施予定	課題・検討事項等
(1)子どもの体力向上とスポーツ活動の推進					
①	幼児を対象とした運動遊びの充実	なかよし運動会	こども政策課	親子で触れ合いながら運動を楽しむことを目的として、小学生未満の子どもと保護者を対象に秋ごろ実施予定。	子育て世代がより楽しめる充実したイベント、プログラムになるよう、事業実施後のアンケートを行うなど、参加者のニーズの把握に努める。
②	学校におけるスポーツ活動の充実	放課後子ども教室	社会教育・スポーツ振興課	子どもたちの放課後や休日を充実したものとなるよう、地域のボランティアの指導のもと、6小学校において新規開設し、市内21小学校(野口南小、陵北小、川西小、尾上小、西神吉小、野口小、氷丘南小、平荘小、若宮小、氷丘小、平岡小、上荘小、東神吉小、野口北小、平岡北小、神野小、平岡南小、志方小、志方東小、志方西小、別府西小)及び12公民館において実施する。スポーツ種別としては、野口南小で卓球・グラウンドゴルフ、川西小で卓球、西神吉小でソフトボール、野口小で卓球、氷丘南小でゲートボール、若宮小でバレーボール、氷丘小でグラウンドゴルフ・キンボール、平岡小でハンドボール、上荘小でソフトボール、東神吉小で卓球、野口北小でバレーボール、神野小でソフトボール、平岡南小でハンドボール、志方東小でグラウンドゴルフ、志方西小でドッジビー、別府西小で綱引きを実施する。公民館では、登録団体や高齢者大学の協力のもと、スポーツを含むさまざまなプログラムを実施する。	市内28小学校での実施に向け、事業を統括するコーディネーターや活動の中心となる地域ボランティアの確保・育成が課題である。
		中学校部活動支援事業	学校教育課	加古川市中学校部活動外部技術指導者数－18名 外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。 平成30年度配置予定 配置校－9校(浜の宮、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南) 配置数－11種目、18名(野球3名、バレーボール4名、陸上競技2名、バスケットボール1名、ソフトテニス2名、国際交流1名、バドミントン1名、ソフトボール1名、柔道1名、生活1名、演劇1名)	教職員の人事異動等により、部活動において、専門的な指導をすることができる教師が不足しており、中学校の部活動支援に対するニーズが高まっている。 また、平成29年3月14日に学校教育法施行規則の一部が改正され、部活動指導員が顧問となることが可能となった。今後、本市における外部技術指導者に係る規則の整備など、検討していくことが必要である。
(2)ライフステージに応じたスポーツの推進					
①	ビジネスパーソンのスポーツ習慣づくり	スポーツライフセミナー	社会教育・スポーツ振興課	スポーツライフセミナーは、スポーツ実施率の低い20代～50代の方にスポーツを始めるきっかけ作りを提供することを目的としており、昨年度と同様に20代～50代を対象に全6回をひとつのプログラムとする「初心者コース」を実施する予定。 小学校コースについては3つの小学校(鳩里・神野・氷丘)で、フライングディスク・卓球・トランポビスク・シッティングバレーボールの4種目を行い、NPO法人加古川総合スポーツクラブとスポーツ推進委員会が指導を行う。	
②	女性がスポーツに参画しやすい環境整備				
③	高齢者スポーツの推進	老人クラブ活動	高齢者・地域福祉課	いきいきクラブ体操、ラジオ体操、その他の高齢者の健康づくり・介護予防のために市が適当と認める体操等の実施・普及促進活動を市内の老人クラブ(130クラブ6,615名)が主体となって引き続き実施する予定である。	老人クラブ数、老人クラブへの加入者数とも減少している。

1 スポーツ参画人口の拡大					
No.	具体的施策	主な関連事業	所管課名	平成30年度実施予定	課題・検討事項等
(3)スポーツに関心のない人へのはたらきかけ					
①	スポーツとの多様な関わり方の提案				
②	ライフスタイルに合わせたスポーツ情報の提供	かこがわ・新コンセプトウォーキングコース	ウェルネス推進課	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とする、目的別に巡る新しいコンセプトのウォーキングコースを設定しており、各公民館にてガイドブック及びマップを配布するほか、観光協会と連携しHPでPR等を実施する。	
		ウォーキングコースの奨励	観光振興課	ホームページ及び観光パンフレットにウォーキングコースを掲載し、ウォーキングを奨励する。	既存のウォーキングコースのより一層のPR。
(4)競技スポーツの推進					
①	競技スポーツ選手のスポーツ環境整備	選手育成機会の提供	社会教育・スポーツ振興課	県体育協会が小学生を対象としたスポーツ体験教室等を実施し、優れた素質を有するジュニア選手を発掘するとともに、ジュニアスポーツ教室や関連スポーツ団体と連携し、継続的に選手を育成するゴールデンエイジプロジェクトについて、市に情報提供があれば、体育協会やスポーツクラブへ周知を行う。	申込の際、市へも報告をしてもらい、ゴールデンエイジプロジェクトの参加者数を把握する。
		選手育成コース	運動公園陸上競技場	①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象にしており、陸上の基本練習をしている。基本となる体作りを目的とし多くの子供が参加している。高跳びや幅跳びにも挑戦するので、陸上に触れる良い機会となっている。選手育成コースは小学5～6年生を対象とし、大会出場を目的とした教室になっている。 ②投てきコース 中学生対象の教室で、投てき専門のコーチによる指導が受けられる。地域の大会では入賞者を多数輩出している。	教室参加者が、中学、高校に出て活躍しているので、引き続き多くの生徒が活躍できるような指導に努める。
		バスケットボール教室	ウェルネス推進課	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バスケットボール部に所属する中学生および指導者を対象に、Bリーグ選手の直接指導による教室を実施する。 日時：平成30年8月24日（金） 場所：日岡山体育館	部活動に配慮した日程調整を行い、参加校の増加を図る。
		バレーボール教室	ウェルネス推進課	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バレーボール部に所属する女子中学生および指導者を対象に、Vリーグ選手・スタッフの直接指導による教室を実施した。 日時：平成30年7月21日（土） 場所：総合体育館	部活動に配慮した日程調整を行い、参加校の増加を図る。
		バンディオンセ加古川サッカー教室	ウェルネス協会	事業廃止	

1 スポーツ参画人口の拡大

No.	具体的施策	主な関連事業	所管課名	平成30年度実施予定	課題・検討事項等
①	競技スポーツ選手のスポーツ環境整備	バドミントン教室	ウェルネス推進課	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バドミントン部に所属する中学生および指導者を対象に、日本リーグや兵庫県No.1のチームで活躍する選手の直接指導による教室を実施する。 日時：平成31年1月26日（土） 場所：日岡山体育館	部活動に配慮した日程調整を行い、参加校の増加を図る。
		小学生ボート体験教室	ウェルネス推進課 （ウェルネス協会受託）	小学生4～6年生を対象に、水に親しみながらボート競技を通じての体力づくりを目指し、2日間コースで実施する。	今後ともPRし、参加者増を図りたい。
		加古川市民さわやか賞	総務課	文化・スポーツその他の分野においてめざましい活躍をし、市民に希望と活力を与えている個人又は団体に対して、今後の一層の活躍を期待して、加古川市民さわやか賞を授与する。	表彰基準に該当する方を漏れなく表彰するため、制度について庁内への積極的な周知など広くPRしていく必要がある。
②	競技スポーツ指導者の育成・確保				

2 スポーツを通じた共生社会の実現					
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	平成30年度実施予定	課題・検討事項等
(1)障がい者スポーツの振興					
①	障がい者スポーツの組織基盤の整備				
②	スポーツ施設における障がい者等の利用促進				
③	障がい者スポーツの実施機会の増加	ふれあいスポーツ教室	障がい者支援課	昨年と同様に全5回で実施予定。今年度は一部種目を変更し、「風船バレー・卓球バレー」を行う予定にしている。より多くの方が参加し、楽しめるように実施する。	
④	ノーマライゼーションの推進	加古川ツーデーマーチ	障がい者支援課	昨年までは事前申込時に参加費を徴収していたため、当日の体調に不安のある障がい者が参加を見送っていたこともあり、今年度より当日に参加費を徴収するよう事務処理方法を変更し、より多くの障がい者が参加できるように実施予定。	
		加古川マラソン大会	ウェルネス推進課	市民に開かれたバリアフリーな大会をめざし、聴覚障害者（児）ランナーへの対応として、手話通訳者を配置する。 視覚障がい者の参加者にも配慮していく。	
(2)健康・体力づくり事業の推進					
①	健康・スポーツに関する情報発信	ウェルネスプラン 運動・身体活動ワーキングチーム	健康課	「ウェルネスプランかこがわ」の8項目のうち、運動・身体活動に関する項目は、平成27年度・平成28年度の重点項目であったが、引き続き庁内関係課及び関係施設と連携し、事業を実施する。また、かこがわウォーキング手帳については、内容の見直し、活用法の再検討を行う。 また、健康づくり支援事業（ウェルネス健康チャレンジ）では、市民自ら健康目標と取り組みを設定し、6ヶ月間取り組むことで、主体的な健康づくりを支援している。平成29年度に引き続き、平成30年度も取り組み開始時に、開幕式を開催し、運動実践に向けた支援を行う予定。	庁内だけでなく、庁外の関係団体と協力し、運動・身体活動の推進体制の構築中である。今後も連携の継続及び強化を図っていく必要がある。
		特定保健指導	健康課	平成29年度に引き続き、特定保健指導対象者に対して生活習慣の改善を目的に、各種運動指導を実施する。 引き続きかこがわウォーキング手帳、からだカルテを配布し、ウォーキングの推進と手帳の利用勧奨を行い、継続的なウォーキングの実施を勧める。	参加者の多くが60歳以上であり、若い世代の参加数が少ないのが課題である。 かこがわウォーキング手帳、からだカルテの利用状況について評価を行い、今後の配布や啓発について検討する必要がある。
		いきいき健康サークル	健康課	加古川市が実施する保健事業や介護予防事業に協力し、市民を対象に、市内の集会所等でストレッチやリズム体操、レクリエーション等心身ともに健康を促す運動の普及啓発を実施する。また、「ロコモティブシンドローム」の知識の普及啓発や「効果的なウォーキング」の実践についても引き続き取り組む。平成30年度は、リズム体操やストレッチ等の他、生活の中で身体活動量を高める「ながら運動」についての知識を深め、プラス10の普及啓発を継続する予定。	会員の多くが60歳以上であり、会員の高齢化が課題である。また、地域でボランティア活動を行う会員に偏りがあるので、全体の資質向上、新規会員のスキルアップを検討していく。また、いきいき健康サークルの周知を行い、新会員の加入増加を図る。

2 スポーツを通じた共生社会の実現

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	平成30年度実施予定	課題・検討事項等
②	散歩・ウォーキング・健康体操の推進	<再掲> かこがわ・新コンセプトウォーキングコース	ウェルネス推進課	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とする、目的別に巡る新しいコンセプトのウォーキングコースを設定しており、各公民館にてガイドブック及びマップを配布するほか、観光協会と連携しHPでPR等を実施する。	
		<再掲> ウォーキングコースの奨励	観光振興課	ホームページ及び観光パンフレットにウォーキングコースを掲載し、ウォーキングを奨励する。	既存のウォーキングコースのより一層のPR
		ラジオ体操の推進	社会教育・スポーツ振興課	スポーツ推進委員にラジオ体操指導者講習会への参加を呼びかけ、スポーツライフセミナーや高齢者大学、特定保健指導運動教室等の講習会でラジオ体操の指導を行う予定。	
		いきいき百歳体操活動支援	高齢者・地域福祉課	平成29年度に引き続き、住民主体で介護予防活動が実施できるように「いきいき百歳体操」の普及啓発と活動支援を行う。 また、代表者に対する研修会を計画している。 「いきいき百歳体操サポーター育成事業(いきいき百歳体操応援隊講座)」を市内6会場で実施する。	団体への継続フォローとして、地域包括支援センターの関わりが不可欠であり、体制を整えていく必要がある。 いきいき百歳体操応援隊講座講座修了者がより活躍できる場ができる方法を検討していく。
③	スポーツ推進委員会の活用	スポーツ推進委員派遣事業	社会教育・スポーツ振興課	市民がスポーツ・レクリエーション活動を行う際に、要望に応じてスポーツ推進委員を派遣し、スポーツ活動の推進を図る。	
		スポーツ推進委員研修会	社会教育・スポーツ振興課	毎月1回、指導力向上研修会を開催し、スポーツ推進委員としての資質向上を図る。	
(3)スポーツを通じた地域活性化					
①	地域におけるスポーツ環境・スポーツ情報の充実	公民館活動	社会教育・スポーツ振興課	昨年に引き続き、市内12の公民館で多くのスポーツグループがスポーツ活動を行う予定。	
		少年団活動	青少年育成課	加古川市連合少年団(市内20団)は、地域のさまざまな活動を通して、青少年の健全育成を行うことを目的とし活動している。平成30年度も各地区の少年団において、これまでのスポーツ活動の実施を行う。また連合少年団としては、無人島でのキャンプの継続、新規事業として戦闘中&逃走中の実施を予定している。	少年団員数は、平成24年度の9,614人に比較し、平成29年度には8,990人と減少しており、各地区の少年団のソフトボール、バレーボールチームの活動も縮小傾向となっている。

2 スポーツを通じた共生社会の実現

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	平成30年度実施予定	課題・検討事項等
②	スポーツイベントの開催	加古川市民スポーツカーニバル	社会教育・スポーツ振興課	11月3日(土・祝)に加古川市立総合体育館他にて開催予定。 今回は、『『スポーツを文化に』～日々の生活にスポーツを!!そして、健康な生活を!!～』をテーマとし、スポーツ体験コーナーや体力測定などのイベントを実施する予定。	
		加古川カップ綱引大会	社会教育・スポーツ振興課	スポーツを通して気軽に健康・体力づくりや仲間づくりをすることを目的に、体育協会が平成31年2月24日に第31回加古川カップ綱引大会開催を計画している。「市内小学校対抗戦」を本年度も市内小学生の体力づくりの機会として実施し、部門においては現在検討中である。また、広報手段としては、昨年同様、校長会において参加促進依頼を行い、PRちらしを小学校、中学校に配布する予定であるほか、広報かこがわや市ホームページ等に掲載する予定である。	部門の一つ、「市内小学校対抗戦」では全28校のうち12校が参加しており、今後も過半数の参加に向けて、さらに参加校を募っていく。
		健康・体力づくり事業	社会教育・スポーツ振興課	市民の健康・体力づくりを目的に加古川市体育協会が主催して初心者の方が参加できる大会、教室を8月から翌年2月まで(前期:8月～11月と後期:12月～2月)に開催する予定。	協会に加入していない一般市民の参加のさらなる増加に向け、事業実施の検討を行う。
		加古川市民レガッタ	ウェルネス推進課 (ウェルネス協会受託)	加古川市レガッタ事業実行委員会が主催し、8月4日(土)・5日(日)の2日間にわたり市民レガッタを実施する。また、小・中学生(小学4年生以上)チームの参加費を無料とし、青少年の健全育成とボート愛好者層の拡大を目指す。	情報提供の充実とジュニアの育成が課題である。 猛暑の中での開催となっており、熱中症対策等の対応が課題である。
		加古川市民レガッタ(関西学生秋季選手権)	ウェルネス推進課 (ウェルネス協会受託)	ボート競技を通じて青少年の育成と加古川流域のまちの活性化を図る目的で、加古川市立漕艇センター前コース(2,000m)で競技する。今や関西だけではなく、西日本の大学が参加する大会となっている。今年度は、11/2～4の3日間で開催予定。	参加大学増により、宿泊先の確保が課題となっている。
		加古川ツデーマーチ	ウェルネス推進課	心と体の健康を目的に加古川ツデーマーチ実行委員会が主催し、11月10日(土)・11日(日)の2日間にわたって歩くウォーキングイベントとして開催する。両日も40・20・10・5kmの各コースを設定。 また、ウォーカー向けサービスとして中央会場内で看護協会、柔道整復師会、はり灸マッサージ師会等による無料健康チェックや相談等も行う予定。	両日晴天であったこともあり、参加者が増加した。広報活動の強化や新たな催しの検討等により参加者増につながる活動をすすめたい。
		加古川マラソン大会	ウェルネス推進課	健康づくりを目的に加古川マラソン大会実行委員会が主催し、12月23日(日・祝)に加古川河川敷で開催する。参加コースはフルマラソン・10km・中高生5km・中学生3km・ファミリー2km。	参加者数が増加傾向にあるが、コースの安全確保・救護体制の充実を含めた、大会レベルの維持向上を目指す。
		兵庫県郡市区対抗駅伝競走大会	ウェルネス推進課	実施予定なし ※兵庫陸上競技協会主催にて開催予定。	
③	地域でのスポーツイベントの開催	世代間交流学習会	社会教育・スポーツ振興課	地域の教育力を高め、絆を深めることを目的とし、共に支えあう地域づくりに貢献するために実施する。	規模の小さい町内会や、高齢化が進む町内会では、世代間交流学習会の実施が困難な地域がある。

2 スポーツを通じた共生社会の実現

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	平成30年度実施予定	課題・検討事項等
④	ホストタウンを契機としたスポーツ交流の促進	ホストタウン交流事業	社会教育・スポーツ振興課	ホストタウンとしてブラジル連邦共和国との交流を進めるほか、東京2020オリンピックパラリンピック競技大会へ向けて機運醸成を図る事業を実施する。	
		加古川市スポーツサポーター養成講座	社会教育・スポーツ振興課	加古川市スポーツサポーターバンク(仮称)を設立し、市民、企業、各種団体等から広くボランティアを募り、国内外の選手や市内スポーツイベントにおいて質の高いサポートができる人材を養成する。	

3 スポーツ環境の充実					
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	平成30年度実施予定	課題・検討事項等
(1)身近に利用できる「場所」の確保					
①	スポーツ施設の充実	スポーツ施設等による主催講座、教室	総合体育館	①新しい教室の開講。(ZUMBA調整中) ②夜間の教室が少ないので夜間教室の開講を検討中。 ③昼間の閑散時間に、いつでもだれでもスポーツが出来るような教室開講の検討をしている。	各教室が定員に達するように広報かこがわやHPを中心に 教室周知を行う。新たな周知方法として、学校配布やポスティング、新聞折り込みなどを検討する。また、地域の様々なニーズに応えられるような教室を開講できるよう情報を収集する。
			運動公園陸上競技場	①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象にしており、陸上の基本練習をしている。基本となる体作りを目的とし、多くの子供が参加している。高跳びや幅跳びにも挑戦するので、陸上に触れる良い機会となっている。選手育成コースは小学5～6年生を対象とし、大会出場を目的とした教室になっている。 ②投てきコース 中学生対象の教室で、県大会などで活躍する選手が多く出ている。 ③リフレッシュウオーキング教室 20歳以上対象で、リフレッシュすることを目的としている。気軽に参加でき、経験とわず誰でも参加できる教室を目指している。	教室の卒業生が、中学、高校に出て活躍しているので、引き続き多くの生徒が活躍できるような指導に努める。 リフレッシュウオーキング教室は継続参加の方が多いので新規参加者の獲得が課題である。
			日岡山体育館	①利用者のニーズに合わせた、新たな教室の開校を行う ②7施設全体を使ったイベントを行う ③ノルディックウォークを継続して実施していく	広報の掲載内容基準が変更されたことにより、新規申込者の獲得に苦戦する傾向がでてきている。これまでとは違った広報宣伝活動を行っていく必要がある。
			武道館	①利用者のニーズに合わせた、新たな教室の開校を行う ②7施設全体を使ったイベントを行う ②第二武道場の床メンテナンスを実施する	「はじめての剣道教室」等、受講者が減少してきている教室があるので、体育館と同様に、これまでと違った広報宣伝活動を行っていく必要がある。
			日岡山公園グラウンド	①ジュニアサッカースクール(幼児、小学生) 体験会を定期的に開催し、在籍の拡大に繋げる。 ②グラウンドゴルフ協会と協働で「グラウンドゴルフ大会」を開催する ③7施設全体を使ったイベントを行う	人工芝の老朽化が進んでおり、ゴムチップが見えてきている部分が増えてきている。
			日岡山公園第1テニスコート	①2月～3月の期間で、「平日割引キャンペーン」を実施した。3月においては、稼働率が4ポイント向上した。 ②7施設全体を使ったイベントの実施	平日のテニスコート稼働率向上に向けて、前年と同様に、平日割引キャンペーン等の企画を実行していく必要がある。
			日岡山公園第2テニスコート	①コーチの1名退職により、9月以降のテニススクールの多くのクラスが休講となってしまっているため、早急に体制を立て直す ②7施設全体を使ったイベントの実施	コーチの募集活動は行っているが、条件に合うコーチが見つかっておらず、多くのクラスが休講のままであるため、コーチ採用が急務である。早急に体制を建て直し、活気のあるテニススクールを取り戻す必要がある。同時に、コートコンディションの維持に向けて、注力していく。
			漕艇センター	①昨年に引き続きシリーズ化した「コーチングセミナー」を開催する。H29年度は、都合によりオンシーズン中での開催となったためか、少数参加となったが、H30年度はオフシーズン中に開催し、より参加し易い企画とする。 ②一部高校の廃部や企業研修の廃止などにより、利用者数の減少は免れない。初心者向けボートは5人乗りのため5人集まらなければ利用できない。これが障壁となっているため、1人でも参加できるようなボート教室を企画する。また、加古川ボート協会と協働で、1人乗り(上級者向け)の艇に誰でも乗れるようなイベントを企画し、ボート人口の底上げを行っていきたい。	エルゴマシン体験イベントなど積極的に行っているが、ボート人口の増加には繋がっていないと感じる。 原因としては、継続して練習できるクラブのような団体の受け皿がないためと思われる。これを少しでも改善するために、NPO法人加古川総合スポーツクラブなどに協力を求め、ボート人口の底上げを行っていきたい。

3 スポーツ環境の充実					
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	平成30年度実施予定	課題・検討事項等
①	スポーツ施設の充実	スポーツ施設等による主催講座、教室	ウェルネスパーク	①親子向け教室、イベントの充実 親子スイミング等の教室の増設、振替制度を設けることで新たな客層や定着率向上に努めていく ②高齢者、運動初心者向けの教室・イベントの拡充 高齢者向けのウォーキング、ノルディックウォーク教室 難易度の低いランニング教室などウェルネスパークの立地を活用したプログラムを展開。 ③プールの時利用者の参加者数増加 施設の周知活動や利用料金の手軽さをアピールし利用しやすい環境を整えていく。	認知媒体が限定されているため、SNSやホームページ等の広報活動の充実を行っていく必要がある。
			スポーツ交流館	①引き続き、初回講習受講後の2回目以降の来館を促進 動機付けや目標設定、スタジオプログラムの誘導を行うことで運動習慣を身に着けていただく。 ②子育て世代を対象とした教室事業の充実 水泳教室やダンス教室・ヨガ教室を中心に、お子様や親子でも参加いただける教室の実施時間帯や定員の見直しを図り、参加・継続性を向上していく。 ③プールプログラムの充実 ジム・スタジオの混雑感緩和としてプールの活用を進めていく。新プログラムも導入し、これまで利用したことのない層にも促進していく。	ジム・ロッカー・浴室のスペースが狭小のため、プログラムなどの時間配分により、混雑感を最小化していく。
			アクア交流館	①水泳競技参加者の利用促進を拡大 公認プールを活かした競技力向上や練習環境の整備を行う。KAKOGAWAマスタース大会や市民大会を開催し、さらに広く認知度を広めていく。 ②水泳教室参加機会を拡大 水泳教室の体験会を適宜開催するとともに期途中からの参加も受け入れることで多くの方に水泳に親しんでいただく機会を提供する。 ③健康運動教室の展開 付属施設である和室や食堂、ホールを使用しての健康運動教室やイベントの誘致、低強度の運動イベント等を開催し新しい利用者を開拓施設の認知度向上を図る。	・プールに比較すると利用率が低いホールや宿泊施設を、広く認知いただく広報活動が必要。 ・冬季の寒冷対策。 ・駐車台数が少ないことへの対応。 ・認知媒体が限定されているため、SNSやホームページ等の広報活動の充実を行っていく必要がある。
			志方体育館	シェイプアップ教室 10回コースを年4回実施予定。	参加者の増加に向けて、引き続き広報活動に努めていく。
			日岡市民プール	①平日午後の小人割引キャンペーンの実施 ②7施設全体を使ったイベントの実施 ③今期は、特にプールシートの剥がれが酷いため、シートの張替、補修を実施し、安全確保を行う	プールシートだけではなく、更衣ロッカーやトイレなど、大規模な改修が必要と思われる
			志方東公園テニス	テニス教室 月10日実施している。 教室生対象に年3回のテニス大会を計画している。	参加者の増加に向けて、引き続き広報活動に努めていく。
		トレーニング室の利用促進	日岡山体育館	①既存登録者が、利用回数を増やしていただけるようなキャンペーンの実施 ②既存登録者から、知人・友人を紹介していただけるようなキャンペーンの実施	マシンの老朽化が進んでいる。メンテナンス用の部品供給がなくなりつつあるマシンもあるため、マシンの入替え提案を計画していく必要がある。同様に、利用者管理システムが老朽化し、システム停止が危惧される状況になってきているため、システム更新が必要である。
		トレーニングジムの利用促進	総合体育館	初回講習を受講後の利用のサポートやスタジオプログラムを見直し、幅広いトレーニングのニーズにこたえる。	利用者増加に伴い、利用者間のトラブルが懸念されます。安全、安心のトレーニングジムを心がけます。

3 スポーツ環境の充実					
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	平成30年度実施予定	課題・検討事項等
①	スポーツ施設の充実	プール及びジムの利用促進	ウェルネスパーク	初回講習受講後の2回目以降、2か月目来館を促進 次回来館にむけての動機づけや目標設定を一緒に考え、提案すること で来館数を増やしてもらう。	認知媒体が限定されているため、SNSやホームページ等の広報活動 の充実を行っていく必要がある。
			スポーツ交流館	前年に引き続き、講習室やスタジオ空き時間を活用した目的別(ラン ニング・体幹強化など)プログラムを定期的に行い、継続性向上 を図っていく。	ジム・プール利用について、「広報かがわ」では掲載出来ていない ため、指定管理グループにて運用するSNSを中心に広報活動を 強化していく。
		競技場の個人利用促進	運動公園陸上競技場	施設改修工事が9月～3月と長期間行われます。	施設改修工事が長期間行われるため、利用者の方に迷惑が掛か らない様努めます。
		プールの利用促進	アクア交流館	プーラー時利用者の参加者数増加 施設の周知活動や利用料金の手軽さをアピールし利用しやすい 環境を整えていく。	認知媒体が限定されているため、SNSやホームページ等の広報活動 の充実を行っていく必要がある。
②	学校体育施設等の開放	学校体育施設等の開放	教育総務課	全学校園の体育館等の施設を開放し、地域のスポーツ活動の場 として活用する。平成30年度は、約2万件の利用件数を見込んで いる。	学校体育施設のフローリングや照明設備等が老朽化しているた め、計画的な改修や修繕を進めていく。
			社会教育・スポーツ振興課		小・中学校の学校施設の開放については、スポーツ関係団体等と 調整しながら有効的な活用を検討する必要がある。
③	スポーツ施設に関する情報提供・利用手続きの簡素化				
(2) 観戦スポーツの推進					
①	スポーツ大会の情報提供	Bリーグ加古川大会	ウェルネス推進課	関係機関と調整中のため詳細は未定	
		Vプレミアリーグ女子バレーボール加古川大会	ウェルネス推進課	関係機関と調整中のため詳細は未定	
②	大規模競技大会の誘致				
③	身近な観戦スポーツの推進				

3 スポーツ環境の充実					
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	平成30年度実施予定	課題・検討事項等
(3)スポーツボランティアや指導者の発掘と養成					
①	スポーツボランティアの養成・確保	指導者研修会の情報提供	社会教育・スポーツ振興課	県体育協会が主催するスポーツ指導者研修会やスポーツ指導者養成講座について、体育協会、スポーツ推進委員、スポーツクラブ等へ参加の呼びかけを行う。	大会の安全確保のため、AED講習の継続及び救護体制の強化を目指す。
		加古川マラソン大会	ウェルネス推進課	加古川マラソンを支えるボランティアの育成を目的として、給水所・走路の監察にかかるボランティアの方々に、AEDを用いた心配蘇生法講習を実施する。	
		加古川カップ綱引大会審判講習会	社会教育・スポーツ振興課	体育協会主催の「加古川カップ綱引大会」に従事する審判員については、有資格者の公認審判員のほか、正式な資格を持たない者がいる。(体育協会各種目協会から選出された者、スポーツ推進委員、ボランティア等)その者たちに対し、公認審判員(スポーツ推進委員)が審判の講習を実施する予定である。(2回) また、広報で、審判員のボランティアを募集する。	
②	スポーツ指導者の養成・確保	<再掲> 加古川市スポーツサポーター養成講座	社会教育・スポーツ振興課	加古川市スポーツサポーターバンク(仮称)を設立し、市民、企業、各種団体等から広くボランティアを募り、国内外の選手や市内スポーツイベントにおいて質の高いサポートができる人材を養成する。	
(4)スポーツについての情報発信					
①	多角的なスポーツ情報の提供	広報かがわ情報	秘書広報課	広報かがわで月ごとに開催されるスポーツイベントや大会に関する詳細情報を掲載する。また、スポーツイベントを取材し、写真とともに紙面で紹介する。市公式のツイッターやフェイスブックにおいて、市内のスポーツに関する情報を発信し、スポーツに親しみを持ってもらえるよう努める。	
②	スポーツ情報発信方法の工夫	市スポーツイベント情報	ウェルネス推進課	加古川市ホームページの「子育て・教育・文化・スポーツ」のページに最新の市スポーツイベントの状況を掲載した。また、「加古川市の施設」のページから、スポーツ施設のホームページが閲覧でき、それぞれの施設の大会スケジュールや教室等がチェックできる。	こまめに更新し、常に最新の情報が掲載されている状態を維持していきたい。
		スポーツ推進委員だよりのHP掲載	社会教育・スポーツ振興課	スポーツ推進委員だより「HAPPYスポーツ」は、年2回発行予定。関係者及び一部の公共施設に対する配付だけでなく、市HPに掲載を行い、身近な体力づくりやスポーツ情報を提供。また、綱引大会やスポーツカーニバル、スポーツライフセミナー等イベントにおいても参加市民に配布して情報提供に努める。	
		播磨圏域連携中枢都市圏連携事業(8市8町)	社会教育・スポーツ振興課	播磨圏域8市8町のスポーツイベント等の情報を、姫路市が管理している「ひめじスポーツコミッションHP」を積極的に活用する。	

3 スポーツ環境の充実

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	平成30年度実施予定	課題・検討事項等
(5)総合型地域スポーツクラブの充実					
①	NPO法人加古川総合スポーツクラブの質的な充実	スポーツクラブ活動の推進	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	ヴィジョン・ミッションを行動指針として、12エリアクラブ、31活動クラブにおいて活動している40種目をホームページや募集チラシで広報する。また、エリアクラブ主催の交流活動・種目部会主催の交流大会及びオープン大会等の開催を通して市民への認知度の向上に努める。また、加古川総合スポーツクラブ設立20周年を迎え、記念事業実行委員会を設置し、多数の会員が参加可能な記念事業開催を目指す。	①人材発掘・育成、②活動施設確保・充実、③財源確保、④クラブの魅力づくり、⑤地域貢献・交流、⑥設立20周年記念事業
		スポーツクラブマネージャー研修会	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	・運営委員会(毎月開催)→エリアマネジャーが出席し、行事関係の連絡調整及びクラブ運営諸問題について意見交換を行う。・エリアクラブ別懇談会の開催(10月～11月)、・種目代表者会の開催(7月)、スポーツ指導者研修会の開催(2月)	①指導者養成講座の開設、②エリアクラブ運営役員の交代
②	地域の課題解決に向けた取組の推進	クラブハウスの利用促進	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	スポーツクラブの会議及び活動場所(ボードダーディング・将棋)として利用するとともに、学校(チャレンジクラブ)や地域の団体も利用する予定。	①老朽化に伴う修理補修
③	運動部活動への協力体制の拡充				

加古川市スポーツ推進計画 体系図



* 第2期スポーツ基本計画(国)より